

迎春



屈斜路湖の日の出

北海道 自家用新聞

発行所

北海道自家用自動車協会連合会
編集兼発行人 辻 澤 英 隆
札幌市東区北三〇東一(郵便番号 065-0800)
電話 (011) 721-4578



新年のご挨拶
北海道自家用自動車協会連合会
会長 松 原 正 和

新年、明けましておめでとうございます。2023年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族とともに迎えられましたこと、心からお慶びを申し上げます。

平素は、北海道自家用自動車協会連合会(以下、当連合会)に対しまして、深いご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻などによる物価上昇が景気の下押し圧力となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中で、円安を背景とする物価高により、消費が下振れる状況となりました。

わが国の景気は、旅行支援が全国展開したことなど、人流の増加を背景とした個人消費の回復が景気を支え、生活必需品などの価格高止まりによる購買力の低下があるものの、緩やかな回復基調が見えてきたところです。北海道におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大が景気に与える影響の和らぐ下、個人消費やインバウンドなどの回復によって景気を下支えるものの、物価高の影響から緩やかなテンポの持ち直しになると見られています。

さて、自動車の保有台数についてですが、令和4年10月末現在、全国で約8,254万台、道内では前年とほぼ同数の約372万台を数えています。今や自動車は、経済・産業のみならず、日常生活において、あらゆるところで利用される必要不可欠なものとなっています。その反面、地球環境に大きな影響を与える

排気ガスや騒音等の公害問題、さらには痛ましい交通事故の多発が大きな社会問題となっています。

道内における令和4年10月末現在の交通事故発生状況ですが、関係機関・団体の懸命な努力により、発生件数、死者数、負傷者数ともに減少しています。

当連合会としましては、交通事故防止対策を最重点に取り上げ、会員に対する啓発材の配布、優良運転者の表彰、街頭啓発、ラジオを通じての広報活動、北海道自家用新聞の刊行等、特に、冬期間の事故多発に対する「冬期交通事故防止キャンペーン」を実施する等、全力で取り組みを進め、本年も引き続き継続してまいります。

自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務、無保険バイクの街頭指導、自動車登録の相談、自動車共済事業等の業務を本年も的確に行ってまいります。

また、整備不良による自動車事故を防止するため、自動車ユーザーの皆様にご点検整備の重要性について周知を図るとともに、「自動車点検整備推進運動」、「不正改造車の排除運動」について、積極的に推進してまいります。

観光振興や地方振興を目的とした「地方版図柄入りナンバープレート」は、平成30年10月1日から第1弾として、全国41地域毎に図柄が設定されたナンバープレートの交付が開始されました。北海道は、第2弾として令和2年5月より、新たに追加された17地域の中で、「苦小牧」「知床」

の2地域が交付開始されました。

新たな全国版図柄入りナンバープレートの「元氣の花」を、日本中に咲かせよう!「花柄ナンバー」は、昨年4月半ばに交付が開始され、2025年国際博覧会の開催を記念した大阪・関西万博特別仕様ナンバーは、昨年10月から交付が開始されました。

このほか、全国的な課題として、税制改正に対する取り組みを行っています。保有段階での自動車諸税の負担軽減では、(1)自動車諸税における重課措置の廃止(2)自動車重量税の当分の間税率から本則税率の適用への2項目。また、クリーンエネルギー自動車の車体課税の優遇等などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望しています。当連合会は、自動車ユーザー団体として、幅広い事業や課題について積極的に取り組み、自家用自動車の健全な発展に努めてまいりたいと考えています。

今後とも、当連合会の運営に対し、皆様のご支援・ご協力をお願いするとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。





北海道運輸局
局長 岩城 宏幸

年頭の辞

新年明けましておめでとうござい
ます。令和5年の新春を迎えるにあ
たり、一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大
は昨年の夏を過ぎてようやく一定の
落ち着きを見せる中、全国旅行支援
により全国的な国内旅行の需要喚起
を行うことで観光をはじめとする人
の移動、経済活動を本格的に再始動
する段階に至り、運輸・交通行政に
求められる役割もさらに大きくなっ
ています。

全ての運輸・交通行政にとって、
安全・安心の確保は基本的かつ最重
要の課題ですが、昨年4月には北海
道知床沖で観光船が遭難し、多数の
死者、行方不明者を出す重大事故が
発生しました。この事故によりお亡
くなりになられた方々、その御家族
の方々に對して心からお悔やみ申し
上げるとともに、いまだに行方不明
となられている方々、その御家族の
方々に対して心からお見舞い申し上
げます。

小型旅客船に限らず、全ての交通
モードにおいても、このような悲惨
な事故を二度と起こさないよう安全
・安心の確保に全力を挙げて取り組
んでまいります。



北海道環境生活部
部長 森 隆司

年頭の辞

あけましておめでとうございま
す。

令和五年の新春を迎え、謹んで、
御挨拶申し上げます。

北海道自家用自動車協会連合会の
皆様には、日頃から交通安全対策の
推進に深甚なる御理解と御協力をい
ただいておりますことに対し、厚く
御礼申し上げます。

さて昨年は、新型コロナウイルス
感染症への対策を行い、様々な社会
経済活動を再開する一年となりました
が、貴連合会をはじめ関係機関・
団体の皆様や道民の皆様方の長年に
わたる交通安全の取組により、交通
事故死者数はピークであった昭和46

年の89人の7分の1以下にまで減少
してきているところです。しかしなが
ら、依然として多くの方が痛まし
い交通事故の犠牲となっているこ
とは誠に残念でなりません。

交通事故のない安全で安心な社会
の実現は全ての道民の願いです。

道といたしましては、本年も「ス
トップ・ザ・交通事故」をめざせ

安全で安心な北海道」を年間スロ
ーガンに掲げ、近年の交通事故の発
生状況を踏まえて、「子供と高齢者
の安全確保」、「飲酒運転の根絶」
、「スピードダウン」、「シートベル
トの全席着用」、「居眠り運転の防
止」、「自転車等の安全利用」、「安

未然に防止し、国民の命と暮らしを
守ることに全力を尽くしてまいりま
す。

更に、「北海道運輸局安全プラン
2025」において策定された飲酒
運転ゼロ等の目標の達成に向けて取
組みを進める一方で、「可搬式ナン
バー自動読取装置」により、重大事
故の惹起が懸念される無車検車の排
除に向け街頭検査への取組みを継続
してまいります。

一方、自動車の安全性、環境性能
の維持を図るためにはユーザーが点
検整備を確実に実施し車両の保守管
理を行う必要がありますので、自動
車関係団体のみならず、全ての交通
モードにおいても、このような悲惨
な事故を二度と起こさないよう安全
・安心の確保に全力を挙げて取り組
んでまいります。

また、車両に対する検査や事業者
に対する監査と、安全管理を組織的
に定着させるための運輸安全マネジ
メント評価とを「車の両輪」として
実施する等により、事故等の発生を

全意識の向上」の7項目を重点と位
置づけ、関係機関・団体の皆様の御
協力の下、道民総ぐるみの交通安全
運動を展開し、交通事故の犠牲者を
一人でも減少させるよう粘り強く取
り組んでまいります。

特に、飲酒運転による交通事故が
未だに後を絶たないことから、「飲
酒運転をしない、させない、許さな
い、そして見逃さない」を合言葉
に、飲酒運転を絶対に見逃さないとい
う「社会の目」を道内の隅々まで
広げ、飲酒運転ゼロ北海道を目指し
てまいります。

また、高齢運転者による交通事故
の割合が増加傾向にあることから、
安全運転サポートカーの普及促進
や、運転に不安を感じる高齢者が運
転免許証を自主的に返納しやすい環
境づくりに取り組むなど、積極的
に交通安全防止対策を推進してまいり

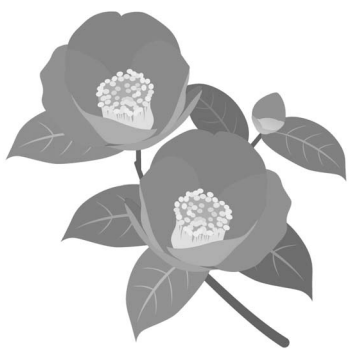
ろ「自動車保有関連手続のワンスト
ップサービス(OSS)」の利用促
進等により、行政サービスのデジタ
ル化・キャッシュレス化を推進して
まいります。

また、令和4年度から交付が開始
された新たな「全国版図柄入りナン
バープレート」に加え、大阪・関西
万博の開催機運の醸成を図ることを
目的とした「大阪・関西万博特別仕
様ナンバープレート」についても、
道内の地域の魅力を広げる「地方版
図柄入りナンバープレート（知床・
苦小牧）」とあわせて普及に努めて
まいります。

このほかにも課題は山積していま
すが、北海道運輸局として、道民・
国民の皆様方のご意見を真摯に伺い
ながら課題の解決に向けて取り組ん
でまいります。本年も引き続き北海
道運輸局の行政に対し、皆様方のご
理解とご協力を賜りますようお願い
申し上げます。年頭の辞とさせていただきます。

皆様におかれましては、今後と
も、地域の交通安全運動に積極的
に御参加いただくとともに、本道の交
通安全の推進に一層のお力添えを賜
りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会並びに会員の皆
様方の益々の御発展と御活躍を心か
らお祈り申し上げ新年の御挨拶とさ
せていただきます。



令和五年 謹賀新年



北海道自家用自動車協会連合会

会長 松原正和
副会長 吉田裕
副会長 徳井裕昭
専務理事 辻澤英隆

〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目1-1 (721)4578

北海道自動車標板協議会

会長 松原正和
副会長 吉田裕
副会長 小藤田良彦
専務理事 辻澤英隆

〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目1-1 (721)4578

北海道自動車共済協同組合

理事長 松浦良一
副理事長 吉田裕
副理事長 徳井裕昭
専務理事 辻澤英隆

〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2 (721)5233

(一社) 〒065-0030

札幌市東区北三十条東一―一
電話(〇一一)七二一―八二〇三
札幌地区自家用自動車協会
会長 松原正和
専務理事 辻澤英隆

(一社) 〒041-0824

函館市西桔梗町五五五―三三
電話(〇一三八)四九一―六三七八
函館地区自家用自動車協会
会長 瀬尾昌宏
専務理事 齋藤利雄

〒050-0081

室蘭市日の出町三―四―一一
電話(〇一四三)四四一―五六六二
室蘭地区自家用自動車協会
会長 岩崎忠剛
専務理事 千葉

(一社) 〒080-2459

帯広市西十九北一―八―三
電話(〇一五五)三三―三四〇〇
帯広地区自家用自動車協会
会長 徳井裕昭
専務理事 柴田信幸

(一社) 〒084-0906

釧路市鳥取大通六―一―一
電話(〇一五四)五一―三二五四
釧根自動車協会
会長 近藤伸也
専務理事 中村智欣

(一社) 〒090-0836

北見市東三輪三―二五―六
電話(〇一五七)二四一―六二七一
北見地区自家用自動車協会
会長 松原英行
専務理事 阿知良雄二

(一社) 〒070-0902

旭川市春光町一―〇
電話(〇一六六)五一―二二二一
旭川地方自家用自動車協会
会長 吉田裕
専務理事 尾関哲也

寒冷積雪地でもEV

北海道の企業が業界超えて普及を後押し

北海道で電気自動車（EV）の普及を後押しする取り組みが広がっている。フォルクスワーゲン（VW）やアウディなど外国メーカー車12ブランドを扱うMIDアルファホールディングス（札幌市東区）は、地元企業と協力してEV用の給電車を開発。北海道が地盤の物流企業、ロジネットジャパンは積雪寒冷地における貨物用EVの実用性の検証を始めた。さらに北海道電力がEVを活用したカーシェアリングに参入した。他の地域よりも新車販売に占めるEV比率が低い北海道ではあるが、今後の本格普及をにらみEV分野で新たな商機を探る動きが活発化してきた。

日本の国土面積の2割を占める北海道は、都市間距離が長く、日頃の移動でも必然的に車両走行距離が伸びがちになる。そのため、道内の自動車ユーザーがEVの航続可能距離に抱く不安は決して小さくない。実際、新車販売に占めるEV販売比率が全国と比べて低い傾向が続くことに、その様子が浮かび上がる。

経産省 今年度中にEVの「充電インフラロードマップ」策定

高速道路や集合住宅の導入方針

経済産業省は、2022年度中に電気自動車（EV）の「充電インフラロードマップ（仮称）」を策定する方針を明らかにした。高速道路や集合住宅などにおける導入方針や、設備更新を踏まえた中期的に持続可能な充電網のあり方を示す考えだ。政府は30年度に全国で15万基の公共充電器の設置を目標に掲げるが、元の整備状況は3万基程度にとどまる。ロードマップ（工程表）で具体的な普及シナリオを描き、官民一体で取り組みを加速する。

政府は、30年度での目標に掲げる



EV用給電車で移動充電サービスを開始

ディングスの相川会長は、一度はEVに乗り換えたものの、航続可能距離や充電環境の問題でガソリン車に戻ったユーザーがいることを指摘。EVの普及に向けては「インフラが不安材料だ」と述べ充電網とサポート体制の拡充が必要との認識を示した。

今回開発したEV用給電車は、既納客が電欠となった場合に駆け付けける新たなサービスに活用。「札幌、函館、旭川、北見にEV給電車を配備し、全道をカバーする。将来的にはロードサービス事業者と協力してEVユーザーをサポートできるようにし

拡大や、高速道路での渋滞緩和に向けた規制緩和策などを検討していく。また、立地や用途に応じた急速充電器と普通充電器の導入工程の具体化や、更新投資を踏まえた設置後の運用方針なども盛り込む考え。

政府目標との整合性を取り、中期的に持続可能なインフラ環境を整備していく。有識者などの意見を踏まえながら、今後詳細を詰める。

公共充電器の整備状況は、21年度実績で、中国が約14万基、米国が約11万基、ドイツが約5万基となっており、日本は他国に遅れを取っている状況だ。政府としてインフラの整備方針を示すことで、EVをはじめとする電動車の普及を後押しする。

これに向け、新たにEVの充電インフラに特化した工程表を今年度中に策定する。管理組合の決議が必要なマンションなど集合住宅への導入



急速充電器を装備したEV用給電車

の航続距離が短くなると言われている。実際の運用を通じて配送業務で活用するためのノウハウなどを蓄積する。

2050年のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）に向けて物流大手を中心にEV導入が進みつつあるものの、寒冷地での導入事例は決して多くない。こうした中、北海道が地盤の物流企業として導入にいち早く取り組み、EVへの転換を目指していく構えだ。

電力会社もEV化への取り組みを始めた。北海道電力は22年4月、企業を対象にしたEVカーシェアリングを開始した。日産「リーフ」とテスラ「モデル3」を本社ビル（札幌市中央区）に開設したステーションに配備。すでに50社以上の利用があったという。10月からは登録すれば個人も利用できる仕組みを用意。当面は23年3月末までサービスを提供する計画で、今後の展開が注目される。

デジタル庁 マイナンバーの利用範囲を拡大

引越時の自動車オンライン申請で住民票が不要に

デジタル庁は、マイナンバーの利用範囲を広げ、引越時に必要な自動車のオンライン申請手続きで、住民票を省略できるようにする方針だ。マイナンバーの利用範囲拡大などを盛り込んだ「マイナンバー法」改正案を2023年の通常国会に提出し、25年度までの施行を目指す。マイナンバーを使ってオンラインで完結する手続きを増やし、国民の利便性向上とマイナンバーカードの利用促進を目指す。

自動車関係の手続きに関しては、これまでも「自動車保有関係手続きのワンストップサービス（OSS）」として提示書類の省略や対象手続きの拡充などを進めてきた。ただ、今は引越時に自動車変更登録をオンライン申請する場合、申請者は

「住民票コード」を確認するため、住民票を取得する必要がある。マイナンバーカードと住民票コードを利用してオンライン申請後、国土交通省が住所変更の履歴を確認する仕組みだ。

こうした実情を踏まえ、デジタル庁ではマイナンバーの利用範囲を広げること、住民票取得の手間を省き、自動車変更登録をオンラインで完結できるようにしたい考え。

現在、マイナンバーの利用範囲は社会保障制度、税制、災害対策の分野に限られている。今後、法改正やシステム整備などを通じてマイナンバーカードの利用範囲を広げ、利便性の向上や行政事務の効率化などを進めていく。

「しんらい」と「あんしん」をお届けします。

北自共の総合自動車共済・自賠責共済

全道に安心のサービス拠点

1事故1担当者制

1つの事故に対して1人の専任担当者が担当

充実のロードサービス

24時間365日対応・等級に影響なし

安心の事故対応力

事故解決の専門家が素早く対応



あんしん・ゆとり・たすけあい みなさまのカーライフをサポートします!!

北海道自動車共済協同組合

〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2

☎011-721-5233

電話の受付時間 平日9:00～17:15

FAX:011-721-0801

<https://www.hokujikyo.jp>



新しい技術と信用のトップメーカー

自動車ナンバープレート

小松自動車工業株式会社

札幌営業所
及工場

札幌市東区北30条東1丁目1-1
〒065-0030 電話 011-752-8592(代表)

本社
及工場

東京都品川区東品川4丁目8番12号
〒140-0002 電話 03-3474-0211(大代表)

釧路



新年のご挨拶

北海道運輸局釧路運輸支局
支局長 山 本 隆 志

新年明けましておめでとうございます。
令和5年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

一般社団法人釧根自動車協会並びに会員の皆様におかれましては、日頃より、自動車・交通・運輸行政に對しまして、特段のご理解ご協力をいただいております、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、とりわけエッセンシャルワーカーとして事業を継続され、日々の市民生活、経済活動を支えてこられた会員の皆様

には、改めて敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

釧路運輸支局といたしまして、安全・安心を主軸として「ウィズ・コロナ」、「新しい生活様式」を見据えながら、感染防止対策、事業継続、需要回復・喚起など、国の予算、各種支援制度等を必要な皆様が有効に活用していただけるよう、引き続き取り組んでまいります。

さて、北海道における昨今の交通事故の状況は、前方不注意や最高速度違反、飲酒を伴った事故など、運転者としての基本が守られていないことによる事故が依然として発生

し、また、高齢者が加害者や被害者となる事故の割合が引き続き高い水準で推移しております。

自動車運送事業における「輸送の安全・安心の確保」は、利用者に信頼される輸送サービスの根幹を成す最も重要な課題です。このため運輸支局では、自動車事故を未然に防ぐべく、保安監査による法令遵守状況の確認、行政指導、行政処分を通じて、運送事業者の管理状況を改善に導くことで、輸送の安全確保につなげる取組を日々行っています。

一方で、電気自動車やユニバーサルデザインタクシー等の導入、各種システムのデジタル化、支払手段のキャッシュレス化、コロナ対策等、利用者の利便性向上及び事業者の先進的取組に寄与すべく、各種補助事業者を支援してまいります。

車両の安全確保及び環境保全につきましては、自動運行装置や衝突被害軽減ブレーキなど先進技術を装備した車両が急速に普及していく中で、自動車ユーザーの義務として適切な点検整備を励行し、その性能を維持することはこれまで以上に重要になっております。

年頭の御挨拶

北海道警察釧路方面本部
本部長 高 橋 靖



新年、明けましておめでとうございます。
令和5年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人釧根自動車協会の皆様には、日頃から、交通安全活動はもとより、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜っており、誠にありがとうございます。

また、貴協会におかれましては、サイクルセーフティラーの協賛、

高齢歩行者向け反射材の寄贈、自治体等に対する交通安全資材の提供のほか、各期の交通安全運動期間等における啓発活動への積極的な参加など、交通事故の抑止に向けた活動を積極的に実施していただき、重ねて深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、未だ収束の見えない新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、以前と同等とまではいかないまでも、徐々に交通安全活動が再開されてきた状況にあり、



新年のご挨拶

一般社団法人釧根自動車協会
会 長 近 藤 伸 也

新年明けましておめでとうございます。
令和5年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様ともどもご健勝にて爽やかな新年を迎えられたこと存じます。

皆様には、当協会の事業運営に何かと協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、感染を継続しております新型コロナウイルスによって亡くなられた方々、そのご家族の方々、闘病生活を送られている方々に心よりお見舞い申し上げます。そして、医療

を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も貴協会、並びに会員の皆様にとりより良い一年でありますことを心から祈念申し上げます。年頭の辞とさせていただきます。

・保健・介護現場を支えて下さっております多くの方々に深く感謝申し上げます。依然、新型コロナウイルスの感染が収束したとは言えない状況ではありますが、ワクチン接種の進捗状況も順調に進んでいる事と皆様方の生活様式の変化、感染に対する意識の向上によって、感染者数の急増が防げているのではないかと推測され、早期の新薬開発により安全で安心な日々の生活が出来ることを願うところであります。

昨年の当協会の活動状況でございますが、一般法人に移行して11年が

経過し、移行の条件でありました公益目的事業計画の中の交通安全事故防止活動について、管内自治体や警察と協力しながらコロナ禍の中でもさまざまな施策を講じ、成果を上げることができました。

また、当協会の主要事業でありますナンバープレートの交付につきましては、全国版・地方版の図柄入りのナンバープレートが継続して好評を頂いており、さらに2022年10月より交付開始の大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートも大好評を頂いているところであります。

令和4年5月に自動車会館建設が無事終了いたしました。私ども釧根自動車協会は、これまで以上に地域貢献できる団体として今後も事業を行ってまいりますので、会員の皆様及び関係機関、団体におかれましては、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年の一年間、会員の皆様及びご家族様が益々ご健勝で、それぞれの事業が発展されますよう、心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年 賀 謹

会 長 近 藤 伸 也
副 会 長 藤 村 俊 明
専 務 理 事 川 村 眞 次
理 事 坂 根 智 修
理 事 中 村 洋 一
監 事 森 田 之 蔵
監 事 青 木 健 成
監 事 高 橋 純 茂
監 事 安 藤 史 博
監 事 土 村 人 人

一般社団法人 釧根自動車協会



阿寒バス株式会社

代表取締役社長

香川 眞 廣

〒085-0062 釧路市愛国一九一番地二〇八
電話（〇一五四）三七二二二

旭化成テクノプラス株式会社

代表取締役社長

佐塚 義 正

全国展技術賞並びに
通産大臣賞に輝く技術



釧路総合印刷株式会社

代表取締役社長

伊 貝 正 志

〒085-0034 釧路市白金町一九番地二号
電話（〇一五四）三三九二〇一
FAX（〇一五四）三三九二〇五

日本事務器株式会社

北海道支社

支社長

柏 尾 司

〒060-0005 札幌市中央区北五条西六丁目二二
札幌センタービル十一階
電話（〇五〇）三〇〇〇一五七〇

日本の原動力・軽自動車

釧路軽自動車協会

会 長 青 木 健 次

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目一番一号
電話（〇一五四）五一〇七四五

安全はスピードダウンとゆとりから

釧路交通安全協会

会 長

安 藤 純 博

〒085-0018 釧路市黒金町十丁目五番地
（釧路警察署内）

一般社団法人釧路地方自動車整備振興会

会 長

濱 屋 俊 明

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目一番一号
電話（〇一五四）五一五二一六

釧路地方自動車整備事業協同組合

理 事 長

濱 屋 俊 明

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目一番一号
電話（〇一五四）五一五二一六



釧路地方中古自動車販売協会

会 長

高 橋 成 人

副 会 長

木 下 裕 幸

〃

鈴 木 克 己

〃

寛 陽 介



株式 会社

代表取締役社長

深 谷 晋 也

〒085-0063 釧路市文苑二丁目一番一号



軽自動車検査協会 釧路事務所

所 長

菅 井 俊 幸

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目二番二号
電話（〇五〇）三八一七六七

安全・安心をプロデュース

株式会社 サン高千穂

代表取締役社長

江 尻 剛

〒083-0007 札幌市白石区本通一六丁目北一番二十号
電話（〇一一）八六五二三四四

一般社団法人 釧根自動車協会

会 長

近 藤 伸 也

専務理事

中 村 智 欣

事務局長

池 本 裕 祥

業務係長

菅 原 里 奈

業務係長

北 川 喜 一

業務主任

弓 場 夏 子

（標板業務担当）

藤 田 育 久

業務係

堀 川 裕 斗

〃

久 田 美 由 貴

標板交付係

荻 原 和 美

しんくみ

釧路信用組合西港支店

支店長 網 田 篤

〒084-0906 釧路市鳥取大通五丁目四番一号
電話（〇一五四）五一〇八一
FAX（〇一五四）五一〇八二

公益財団法人

釧根地区交通育英会

理 事 長

近 藤 伸 也

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目一番一号
電話（〇一五四）五一三二五四
（釧根自動車協会内）

釧根地区ハイヤー協会

会 長

近 藤 伸 也

副 会 長

中 田 聡

〃

寺 澤 昭 彦

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目一番一号
電話（〇一五四）五一二一七三

一般社団法人 釧根地区トラック協会

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目一番四号
電話（〇一五四）五一三二〇八

会 長

藤 村 次 男

副 会 長

篠 田 巖

〃

赤 石 美 枝 子

〃

日 野 渉

専務理事

野 村 和 人

釧根地区レンタカー協会

サンワ機械リース

日産レンタカー

ニッポンレンタカー

道東レンタカー

トヨタレンタカー

旭レンタリース

根室自動車工業

オートワン・イナガキ

ホンダカーズ西釧路

駅レンタカー

摩周観光レンタカー

タイムズレンタカー

オリックス自動車

ナカイレントリース

北武レンタリース

トムソーヤレンタカー

田中自動車工業

東北北海道ホンダ

カ ナ モ ト

東 部 ダ イ ハ ツ

トヨタモビリティ釧路

（順不同）



中標津地方自動車
整備事業協同組合

代表理事 長 渕 誠
副理事長 斉 藤 秀 二
局長 藤 本 靖
局長 一 色 政 夫

〒061-0333 中標津郡中標津町東二十二条南一丁目一番地
電話 (0153) 721-2744
FAX (0153) 721-3023

一般社団法人
日本自動車連盟釧路支部

支部長 坂 根 篤

〒084-0906 釧路市鳥取大通八丁目二番十一号
電話 (0154) 511-267

株式会社 まつばら

代表取締役 松 原 宏 樹

〒081-0300 河西郡芽室町本通二丁目十九
電話 (0155) 621-2130
FAX (0155) 621-3130

根室自動車
整備事業協同組合

理事長 野 潟 龍 彦
副理事長 斉 藤 俊 朗
事務局長 高 橋 隆 一

〒087-0037 根室市穂香九八番地
電話 (0153) 231-6430
FAX (0153) 231-6433

ゴージャスなメッキフレームと
超薄 8mm のスタイリッシュボディ
(※メッキ枠装着時は13mm)

光源にLED（発光ダイオード）を採用
より明るく、スマートに、均一な光を実現！
LED光源 中 型 用
字光式
ナンバープレート
製造メーカー純正！

中型登録車用照明器具
確認番号 全標協発第37号
字光式ナンバープレート製造メーカー 全国自動車標板協議会会員
ワールドオートプレート株式会社

New

12V車専用

一般財団法人
北海道陸運協会 釧路支部

支部長 中 村 智 欣

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目一番一号
電話 (0154) 511-2384
(釧路自動車協会内)

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン 特約店
株式会社三ツ輪商会
(企画事業本部情報事業部)

〒084-0905 釧路市鳥取南五丁目二番五号
電話 (0154) 611-5160

三ツ輪物流株式会社

代表取締役社長 日 野 渉

〒084-0913 釧路市星が浦南四丁目一番一〇号
電話 (0154) 511-0235

『ストップ・ザ・交通事故死』

釧路市交通安全指導員会

〒085-0018 釧路市役所市民生活課生活安全担当
電話 (0154) 231-5151 (代)

会長 一ノ戸 昇
副会長 高 橋 勲
監事 鎌 田 政 雄
竹 内 享 二
平 間 靖 章

北海道自動車共済協同組合

本部 札幌市東区北三十条東一丁目三番二号
電話 (011) 721-5233

北海道自動車共済協同組合釧路支所
電話 (0154) 511-7900

根室自動車整備事業協同組合

電話 (0153) 231-6430

阿寒自動車工業株式会社

電話 (0154) 661-3922

有限会社 今井総合保険システム

電話 (015) 482-2626

村上代理所

電話 (0154) 521-2652

全建総連釧路建設ユニオン

電話 (0154) 257-7585

及川よしゑ

電話 (0154) 431-3943

株式会社 北海道ジャパンサポート

電話 (0154) 381-5111

山田車輛

電話 (0154) 401-2187

総合保険代理店 株式会社 イーライフ

電話 (0154) 381-4866

N A S V A

独立行政法人
自動車事故対策機構
釧路支所

支所長 松 田 直 樹

〒085-0008 釧路市黒金町七丁目四番地一
太平洋興発ビル二階
電話 (0154) 331-7021

北海道運輸局釧路運輸支局

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目二番十三号
電話 (0154) 511-2522
FAX (0154) 511-0224

支 局 長 山 本 隆 志

首席運輸企画専門官 (総務企画担当) 若 杉 貴 志

首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当) 松 田 順 一

首席陸運技術専門官 (検査整備保安担当) 千 田 睦 陸

首席運輸企画専門官 (登録担当) 増 田 禎 士

首席運輸企画専門官 (船舶・船員担当) 新 堂 聡 史

首席運輸企画専門官 (運航業務監理官) 野 村 健

首席海事技術専門官 (船舶検査官) 松 村 和 俊